

事業番号	事業名	内容	対象外項目番号
	環境対策推進事業		-
1	環境基本計画事業	環境基本計画実施計画の策定・進行管理、環境審議会の開催	②
2	環境事務事業	環境担当庶務等	②
3	合併処理浄化槽設置整備事業	家庭用合併処理浄化槽設置への補助金交付事務	-
4	野生鳥獣・愛玩動物対策事業	傷病鳥獣保護、有害鳥獣対策、害虫駆除、猫不妊去勢手術費補助金交付事務、鳥獣苦情相談事務	-
	公害防止対策事業		
5	環境調査委託事業	環境調査委託の執行事務、公害苦情相談事務	-
	自然環境保全事業		
6	自然環境保護事業	首都圏自然歩道維持管理、自然保護奨励金交付事務、海岸乗入れ禁止条例関係事務、里山関係事務	①
7	畜犬登録及び狂犬病予防事業	畜犬登録・相談事務、定期集合注射の実施	①
	美化推進事業		
8	美化キャンペーン事業	町ぐるみ美化キャンペーンの実施	-
9	不法投棄防止対策事業	不法投棄防止の啓発、不法投棄物の撤去	⑦
10	美しいまちづくり条例啓発事業	美しいまちづくり条例の啓発キャンペーンの実施	-
11	海岸美化等推進事業	海岸美化清掃負担金、美化推進団体補助金交付事務	①
12	再生エネルギー等推進事業	住宅用スマートエネルギー設備設置費補助金交付事務、みどりのカーテンの実施、再エネワークショップ・講演会	-
	ごみの分別及び減量化推進事業		-
13	減量化資源化普及啓発事業	コンポスター、電動生ごみ処理機普及啓発事務、廃棄物減量化等推進員運営事務	-
14	ごみ処理広域化運営事業	ごみ処理広域化推進会議・検討部会・事務連絡会議、施設運営費負担金支払事務	-
15	(仮称)リサイクルセンター整備事業	(仮称)リサイクルセンター整備に伴う各種調査	③

予算事業名	環境対策運営事務事業	シート作成日	平成29年8月14日
		担当課名	環境課
細分事業名	合併処理浄化槽設置整備事業	係名	環境・福祉係
		事業番号	3
		事業開始年度	昭和60年度

## 1. 総合計画上の位置づけ

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
部門	5 河川・生活排水	認定番号	—
大施策	B 生活排水処理の推進	事業名	—
中施策	(2) 個別処理対策の推進		

## 2. 事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱				
個別計画等	生活排水処理基本計画				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	生活排水による公共用水域の水質汚濁の進行を防止し、生活環境の保全を図る。				
対象 (誰を・何を)	公共下水道整備対象区域外に住居を有する住民				
内容	単独処理浄化槽及びくみ取り式便槽から、合併処理浄化槽に設置替えをする者に対して、設置費用の一部を補助する				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	千円	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込み)	平成29年度 (予算)
	国庫支出金	千円	449	168	308
	県支出金	千円	449	168	308
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	816	317	605
	職員人数 (概算職員数)	人	0.08	0.09	0.10
	人件費計 (b)	千円	478	519	564
	総事業費 (a)+(b)	千円	2,192	1,172	1,785
事業費内訳 H 29 年度	○県合併処理浄化槽普及促進協議会負担金 11千円    ○合併処理浄化槽設置整備事業補助金 1,172千円 ○浄化槽台帳用明細地図 15千円    ○普及啓発アンケート切手代 23千円				

## 3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 補助対象合併処理浄化槽	件	2	2	2
	② 補助対象世帯数	件	—	—	—
活動指標 (活動量)	① 補助件数	—	3	1	2
	② —		—	—	—
成果指標 (達成度等)	① 河川のBOD値	mg/ℓ	3.0	3.0	3.0
	② 延べ補助件数	件	20	21	23

#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	水質保全を図る観点からおおむね妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	公共下水道整備区域外における公共水域の水質保全を図る目的から妥当である。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input checked="" type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	補助実績が少ない。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	必要最小限の予算計上と支出に努めている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	必要最小限の予算計上と支出に努めている。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	補助額を増額してからは、毎年、実績がある。

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>合併処理浄化槽設置整備事業補助金の普及啓発を図るため、対象家屋の特定、把握をする必要がある。          単独処理浄化槽による不便を感じていないことや、転換費用がかかることがネックになっていて、住宅の建替え等のタイミングで転換を図るケースが多く、既存家屋の転換が進まない。</p>
② 平成29年度に着手する事項	<p>合併処理浄化槽への転換の普及促進を図るため、下水道区域外の住宅について、個別訪問等による特定調査及び啓発活動を行う。</p>
③ 平成30年度に着手する事項	<p>合併処理浄化槽への転換の普及促進を図るため、下水道区域外の住宅について、引き続き個別訪問等による実態調査及び啓発活動を行う。</p>

#### 6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

合併処理浄化槽への転換の普及促進を図るため、下水道区域外の住宅について、個別訪問等により合併処理浄化槽の必要性を説明し、転換への啓発活動を行う。

予算事業名	環境対策運営事務事業・自然環境保全事業	シート作成日	平成29年8月14日
		担当課名	環境課
細分事業名	野生鳥獣・愛玩動物対策事業	係名	環境・エネルギー係
		事業番号	4
		事業開始年度	不明

### 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
部門	1 自然環境 / 4 環境保全	認定番号	—
大施策	A 自然環境に保全 / B 生活環境対策の推進	事業名	—
中施策	(1) 自然環境の保全 / (2) 犬・猫対策の推進		

### 2.事業の概要

根拠法令・条例等	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律、動物の愛護及び管理に関する法律 ほか				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	野生鳥獣（アライグマ、ハクビシン等）による生活被害を防止し、また傷病野生鳥獣の捕獲保護を行い野生へ復帰させる等、生活環境の保全を図る。				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	○小型有害鳥獣による生活被害への相談に対して現地調査を行い、小型有害鳥獣捕獲器の貸出しなどの防止対策を図る。 ○飼い主のいない猫による生活被害の防止と繁殖を抑制するため、飼い主のいない猫の不妊去勢手術に要する費用の一部を補助する。 ○危険害虫による生活被害を防止するため、危険害虫駆除に要する費用の一部を補助する。 ○傷病野生鳥獣の捕獲。保護を行い、野生へ復帰させる。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	1,275	1,686	1,829
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	462	431	359
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	813	813	1,470
	職員人数 (概算職員数)	人	0.53	0.53	0.53
	人件費計 (b)	千円	3,164	3,059	2,991
総事業費 (a)+(b)	千円	4,439	4,745	4,820	
事業費内訳	○イノシシ被害対策消耗品費 20千円                    ○有害鳥獣駆除手数料 650千円                    ○傷病野生鳥獣保護交付金 350千円                    ○危険害虫駆除消耗品費 5千円                    ○危険害虫駆除費補助金 450千円                    ○危険害虫駆除用防護服購入費 75千円                    ○動物捕獲器購入費 17千円                    ○イノシシ注意看板 32千円                    ○飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金 230千円				
H 29 年度					

### 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 小型有害鳥獣捕獲許可件数	件	27	73	50
	② 傷病野生鳥獣の捕獲・保護件数	件	485	425	471
活動指標 (活動量)	① 小型有害鳥獣捕獲器貸出し件数	件	27	29	31
	② 傷病野生鳥獣の治療件数	件	485	425	471
成果指標 (達成度等)	① 小型有害鳥獣捕獲・駆除件数	件	13	60	50
	② 野生への復帰件数	件	247	254	240

#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	生活環境の保全という観点から妥当である。 動物愛護という観点から妥当である。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	有害鳥獣駆除については、駆除業者へ委託する手法も考えられる。 傷病野生鳥獣の保護については、専門の獣医師に依頼しているので妥当である。 猫の不妊去勢手術については、ボランティアの協力を得て実施しているため、おおむね妥当である。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	有害鳥獣駆除については、駆除件数の実績を上げている。 傷病野生鳥獣の保護についても保護した5割を自然に復帰させているので、成果は得られている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	限られた予算の中で有害鳥獣による生活被害の防止が図られている。 傷病野生鳥獣の保護について、指定獣医師に交付している交付金の中で実施している。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	野生鳥獣（アライグマ、ハクビシン等）の生息数が増加していることもあり、現状を維持したい。 傷病野生鳥獣の発生件数がほぼ横ばいのため、現状を維持したい。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）		<b>評価理由</b>  有害鳥獣による生活被害の防止、また、鳥獣愛護の観点から鳥獣の保護に寄与している。

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	有害鳥獣（イノシシ）については、産業観光課と共催で、専門家を招いて講習会を実施し、防除方法（出没しにくい環境づくり）を学び継続して実践中である。 地域住民が主体となり、出没しにくい環境整備を行うことを理解してもらうよう意識付けを行う。
② 平成29年度に着手する事項	有害鳥獣（イノシシ）について、産業観光課と共催で専門家を招き講習会を実施。また、地域住民主体で鳥獣被害対策を行えるよう普及啓発を行う。
③ 平成30年度に着手する事項	有害鳥獣（イノシシ）について、出没しにくい状況を整えることを浸透させるよう、産業観光課と共催で地区を移動し（新たな地域で）、鳥獣被害対策講習会を引き続き開催する。

#### 6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月29日

有害鳥獣（イノシシ）について、引き続き産業観光課との共催による鳥獣対策講習会を開催する。また、地域住民主体による鳥獣被害対策活動等について支援を行う。

予算事業名	公害防止対策事業	シート作成日	平成29年8月14日
		担当課名	環境課
細分事業名	環境調査委託事業	係名	環境・エネルギー係
		事業番号	5
		事業開始年度	不明

## 1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
部門	4 環境保全	認定番号	—
大施策	A 環境保全対策の推進	事業名	—
中施策	(1) 公害防止対策の推進		

## 2.事業の概要

根拠法令・条例等	神奈川県生活環境の保全等に関する条例 ほか				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	公害のない快適な住みよい生活環境の保全を図る。				
対象 (誰を・何を)	町内全域、全町民				
内容	町内河川や海域、大気などの環境調査を実施する。 大気汚染や騒音などの生活環境に係る苦情に対する相談、現地調査による指導などを行う。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	2,701	2,668	2,668
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	2,701	2,668	2,668
	職員人数 (概算職員数)	人	0.19	0.19	0.19
	人件費計 (b)	千円	1,134	1,097	1,072
総事業費 (a)+(b)	千円	3,835	3,765	3,740	
事業費内訳 H 29 年度	環境調査委託委託料 2,668千円				

## 3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町内河川等の調査地点	地点	23	23	23
	② 苦情件数	件	24	9	0
活動指標 (活動量)	① 測定延べ回数	回	21	21	21
	② 苦情件数	件	24	9	0
成果指標 (達成度等)	① 測定結果 (環境基準達成状況)	—	一部未達	一部未達	達成
	② 苦情対応件数	件	24	9	0

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	環境調査に対し、町が専門業者（知識、技術、測定機器を兼ね備えた）に委託することは妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	環境調査（測定）内容に対して、入札により専門業者（知識、技術、測定機器を兼ね備えた）に委託することが妥当である。
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	町内における環境に関する情報を得ることができている。 苦情への対応により、生活環境の保全を図ることができている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	最少経費で必要な測定を行っている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	最少経費で必要な測定を行っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	行政として必要な情報を得ることができている。

#### 5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	なし。
② 平成29年度に着手する事項	なし。
③ 平成30年度に着手する事項	なし。

#### 6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成30年3月29日

なし。
-----

予算事業名	畜犬登録及び狂犬病予防事業	シート作成日	平成29年8月14日
		担当課名	環境課
細分事業名	畜犬登録及び狂犬病予防事業	係名	環境・エネルギー係
		事業番号	7
		事業開始年度	不明

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
部門	4 環境保全	認定番号	—
大施策	B 生活環境対策の推進	事業名	—
中施策	(2) 環境美化の推進		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	狂犬予防法				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	狂犬病の発生を防止するため、畜犬登録、狂犬病予防注射接種の促進を図る。				
対象 (誰を・何を)	町内の畜犬及び飼い主				
内容	狂犬予防法に基づき、畜犬の登録及び狂犬病予防注射接種状況の管理を行い、鑑札及び注射済票の交付を行う。また、予防注射未実施の畜犬の飼い主へ予防注射接種の指導（督促）を行う。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成28年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	518	373	635
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	518	373	635
	職員人数 (概算職員数)	人	0.54	0.53	0.54
	人件費計 (b)	千円	3,223	3,059	3,047
	総事業費 (a)+(b)	千円	3,741	3,432	3,682
事業費内訳 H 29 年度	○旅費 3千円                    ○鑑札、注射済票等消耗品代 93千円                    ○定期集合注射通知等印刷製本費 200千円 ○通知書等通信運搬費 150千円                    ○獣医師会登録・注射促進協力事業委託料 189千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	28年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 畜犬登録頭数	頭	2,201	2,206	2,200
	② —		—	—	—
活動指標 (活動量)	① 予防注射実施頭数	頭	1,898	1,857	2,200
	② —		—	—	—
成果指標 (達成度等)	① 予防注射頭数の割合	%	86.2	84.1	97.00
	② —		—	—	—



#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	狂犬予防法に基づく事業であり、町が集合注射の日程を設け、より多くの飼い主の利便を図り、未登録犬、注射未実施犬の一掃を目指すことを目的としているので妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	狂犬病予防法に基づく事業であり妥当である。
成果	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	狂犬病の発生もなく、鑑札や注射済票により迷い犬の飼い主を特定できるため成果は得られている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	犬の登録手数料及び注射済票交付手数料により歳入が確保されている。畜犬登録台帳管理がシステム化されている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	犬の登録手数料及び注射済票交付手数料は県内統一した金額に設定されている。また、集合注射における注射料金についても平塚保健福祉事務所管内で統一されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b>  狂犬予防法に基づき、継続する必要がある。	

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	なし。
② 平成28年度に着手する事項	なし。
③ 平成29年度に着手する事項	なし。

#### 6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成30年3月29日

なし。
-----

予算事業名	美化推進事業	シート作成日	平成29年8月14日
		担当課名	環境課
細分事業名	美化キャンペーン事業	係名	環境・エネルギー係
		事業番号	8
		事業開始年度	昭和51年

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
部門	4 環境保全	認定番号	—
大施策	B 生活環境対策の推進	事業名	—
中施策	(1) 環境美化の推進		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町美しいまちづくり条例				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	美化意識の啓発と高揚を図り、清潔で住みよい環境を確保する。				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	美化意識の啓発と高揚を図ることを目的に、町内全域で町ぐるみ美化キャンペーンを実施する。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費	直接事業費 (a)	千円	平成27年度 (決算) 498	平成28年度 (決算見込) 518	平成29年度 (予算) 524
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	498	518	524
	職員人数 (概算職員数)	人	0.46	0.45	0.47
	人件費計 (b)	千円	2,746	2,597	2,652
	総事業費 (a)+(b)	千円	3,244	3,115	3,176
事業費内訳 H 29 年度	○美化キャンペーン消耗品代 369千円、傷害保険代 155千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 全町民	人	32,523	31,479	31,431
	② —		—	—	—
活動指標 (活動量)	① 美化キャンペーン収集ごみ量	kg	13,850	15,320	15,240
	② —		—	—	—
成果指標 (達成度等)	① 美化キャンペーン参加人数	人	4,133	4,091	3,576
	② —		—	—	—

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	美化キャンペーンは、町民をはじめ多くの方が自分たちの生活する町をきれいにするという意識のもと、町民が主体となり事業者の協力を得て、行政との協働で事業が実施できているため妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町民が主体となりごみを拾い、ごみの回収等を委託業者、行政で実施し、分担協働し実施ができています。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	参加人数が減少傾向にある。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	各地区と町内団体、町内清掃事業者の協力により実施している。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	ごみ袋、清掃道具の購入費用と参加者の傷害保険料のみで実施している事業であり、これ以上の経費削減は見込めない。
	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	ごみ袋、清掃道具の購入費用と参加者の傷害保険料のみで実施している事業であり、これ以上の経費削減は見込めない。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	町内の地区、団体、事業者、行政が協働で実施する事業である。年間行事として定着しており、環境意識の啓発、高揚を図る事業として必要である。

#### 5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	年間行事として定着しているが、近年、参加者が減少している。
② 平成29年度に着手する事項	周知方法を見直す。
③ 平成30年度に着手する事項	周知方法を見直す。

#### 6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成30年3月29日

美化キャンペーンへより多くの方の参加協力を促すため、広報やホームページへの掲載のほか、町掲示板などの利用など周知を図る。

予算事業名	美化推進事業	シート作成日	平成29年8月14日
		担当課名	環境課
細分事業名	美しいまちづくり条例啓発事業	係名	環境・福祉係
		事業番号	10
		事業開始年度	平成24年度

## 1. 総合計画上の位置づけ

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
部門	4 環境保全	認定番号	—
大施策	B 生活環境対策の推進	事業名	—
中施策	(1) 環境美化の推進		

## 2. 事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町美しいまちづくり条例				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	「大磯町美しいまちづくり条例」の普及啓発をすることにより、地域の環境美化の推進と清潔でさわやかな生活環境を確保する。				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	駅頭や、町主催のイベント会場などにおいて啓発活動を行い、町民のみならず町を訪れた方に対しても美しいまちづくり条例の周知、浸透を図る。 併せて、町民の方に対して、広報やチラシの回覧により周知を行う。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	189	115	108
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	189	115	108
	職員人数 (概算職員数)	人	0.20	0.20	0.20
	人件費計 (b)	千円	1,194	1,154	1,129
総事業費 (a)+(b)	千円	1,383	1,269	1,237	
事業費内訳 H 29 年度	○美しいまちづくり条例啓発用消耗品代 108千円				

## 3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 全町民	人	32,377	31,479	32,372
	②		—	—	—
活動指標 (活動量)	① 啓発周知回数	回	5	5	5
	②		—	—	—
成果指標 (達成度等)	① ごみのポイ捨て等の苦情	回	4	5	0
	②		—	—	—

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	条例の制定に対し、住民意識の高揚を図るための啓発事業として妥当である。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	周知の手段としては妥当であるが、他の手段も検討する必要がある。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	ペットのふんの放置等の苦情は減ってきている。 海水浴場の喫煙の禁止については、トラブルもなく来場者に浸透してきている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	ペットのふんの放置等の苦情は減ってきている。 海水浴場の喫煙の禁止については、トラブルもなく来場者に浸透してきている。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	必要最小限の予算計上と支出に努めている。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	現在は啓発物品の配布、町広報やホームページ、チラシなどにより周知しているが、他の手段も検討する必要がある。
担当課による 評価			

#### 5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	効率的に多くの人に周知啓発する方法を検討する必要がある。
② 平成29年度に着手する事項	町主催のイベント会場などにおいて、啓発物品の配布等による啓発活動を行う。
③ 平成30年度に着手する事項	町主催のイベント会場などにおいて、啓発物品の配布等による啓発活動を行う。

#### 6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成30年3月29日

町主催のイベント会場などにおいて、啓発物品の配布等による啓発活動を行う。
--------------------------------------

予算事業名	再生エネルギー等推進事業	シート作成日	平成29年8月14日
		担当課名	環境課
細分事業名	再生エネルギー等推進事業	係名	環境・エネルギー係
		事業番号	12
		事業開始年度	平成21年度

## 1. 総合計画上の位置づけ

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
部門	4 環境保全	認定番号	—
大施策	A 環境保全対策の推進	事業名	—
中施策	(2) 資源エネルギー対策		

## 2. 事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町省エネルギー及び再生可能エネルギー利用の推進に関する条例 大磯町住宅用スマートエネルギー設備導入費補助金交付事業				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	再生可能エネルギーなどの普及啓発により、再生可能エネルギー機器の導入を促進し、省エネルギー対策、地球温暖化防止対策等の環境保全意識の高揚を図る。				
対象 (誰を・何を)	全町民				
内容	地球温暖化防止や環境保全意識の高揚を図るため、住宅用スマートエネルギー設備を設置する町民に対し、設備設置に要する経費の一部を補助する。 公共施設において、環境保全意識の高揚を図るため、緑のカーテンを実施する。 省エネルギー、再生可能エネルギーについて普及啓発活動を行う。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,882	849	1,811
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,870	849	1,811
	職員人数 (概算職員数)	人	0.61	0.61	0.61
	人件費計 (b)	千円	3,641	3,521	3,442
	総事業費 (a)+(b)	千円	5,523	4,370	5,253
事業費内訳 H 29 年度	○再生可能エネルギー講演会謝金 40千円    ○省エネ・再エネ条例普及啓発物品代 108千円    ○再生可能エネルギーワークショップ保険代 2千円    ○省エネ・再エネ条例消耗品 35千円 ○住宅用スマートエネルギー設備導入費補助金 1,590千円    ○みどりのカーテン消耗品 36千円				

## 3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町内全世帯	世帯	12,898	12,333	12,425
	② —	—	—	—	—
活動指標 (活動量)	① スマートエネルギー設備補助件数	件	19 (太陽光設置のみ)	8 (太陽光設置のみ)	15 (太陽光設置のみ)
	② —	—	—	—	—
成果指標 (達成度等)	① スマートエネルギー設備補助件数 (累計)	件	268 (太陽光設置のみ)	276 (太陽光設置のみ)	291 (太陽光設置のみ)
	② —	—	—	—	—

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	省エネルギーの推進による地球温暖化対策、再生可能エネルギーの普及という観点から妥当である。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	住宅用スマートエネルギー設備の普及への取組として妥当である。しかし住宅用スマートエネルギー設備導入費補助件数が減少傾向にある。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	条例のチラシを全戸配布するとともに、エコライフアイデアを募集を実施した。それにより、省エネルギー及び再生可能エネルギーの普及・啓発が行えた。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	省エネルギーや二酸化炭素排出削減に貢献している。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	実績を勘案した予算を計上しコストの削減を図った。
	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	実績を勘案した予算を計上しコストの削減を図った。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	国・県の動向を見ると、住宅用スマートエネルギー設備補助の内容がシフトしてきているため、状況を見極め内容を見直す必要がある。

#### 5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>国・県の動向を見ると、住宅用スマートエネルギー設備補助の内容がネットゼロエネルギー事業にシフトしてきているため、状況を見極め補助事業内容を見直す必要がある。</p>
② 平成29年度に着手する事項	<p>再生可能エネルギーワークショップ（太陽の光でクッキング）及び、エネルギー講演会等の実施</p>
③ 平成30年度に着手する事項	<p>申請件数の実績から補助内容の検討を行う。</p>

#### 6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成30年3月29日

スマートエネルギー補助金について、広報やホームページの拡充により周知を図る。  
 また、リサイクルセンターの環境学習機能を活用し、展示物やエネルギー講演会等の開催により、施設の見学・利用者に対して再生可能エネルギーや省エネルギーに関する意識の向上を図る。

予算事業名	ごみの分別及び減量化推進事業	シート作成日	H29. 8. 8
		担当課名	環境課
細分事業名	減量化資源化普及啓発事業	係名	廃棄物係
		事業番号	13
		事業開始年度	不明

## 1. 総合計画上の位置づけ

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
部門	6 廃棄物処理	認定番号	—
大施策	A 廃棄物処理の推進	事業名	—
中施策	(1) 減量化の推進		

## 2. 事業の概要

根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	ごみの排出抑制と資源化を推進するとともに、ごみの分別の周知を図る。				
対象 (誰を・何を)	全町民、町内事業者				
内容	○生ごみ処理容器、電動生ごみ処理機等の普及促進を図る。 ○おおいそ廃棄物減量化等推進員を活用し、地域でのごみの減量化・資源化策及びごみの分別周知を啓発する。 ○集団回収を推進する。 ○広報等を通じた普及啓発を図る。				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	4, 191	2, 200	2, 521
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	75	86	146
	一般財源	千円	4, 116	2, 114	2, 376
	職員人数 (概算職員数)	人	1. 1	1. 10	1. 40
	人件費計 (b)	千円	6, 566	6, 349	7, 900
総事業費 (a)+(b)	千円	10, 757	8, 549	10, 421	
事業費内訳 H 29 年度	○ 生ごみ処理容器購入費ほか 958千円    ○ ごみ収集カレンダー印刷製本費 268千円 ○ 電動生ごみ処理機購入費補助金 520千円    ○ 生ごみ処理容器等購入者アンケート郵送料 7千円 ○ 資源回収協力交付金 899千円    ○ 廃棄物減量化等推進員傷害保険料 24千円    ○ 自動車借上げ料 113千円				

## 3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① ごみの総排出量	t	11, 040	11, 015	10, 775
	②				
活動指標 (活動量)	① 生ごみ処理容器・電動生ごみ処理機の普及基数	基	37/32	41/7	50/13
	② 集団回収資源化量	t	282	267	267
成果指標 (達成度等)	① 1人1日あたりのごみ排出量	g	933	959	918
	② 資源化率	%	30. 4	29. 6	31. 1



#### 4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	行政とおおいそ廃棄物減量化等推進員（地区）の協働により実施しており妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町広報への記事掲載や、町内行事等への参加による普及啓発を進めており妥当である。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	おおいそ廃棄物減量化等推進員の活動を進めることにより、集積場所の適正管理や出し方の工夫をしている箇所が増えていることや、委託業者に違反シールを渡す頻度が減っていることなどからみても、町民に対する分け方、出し方の意識向上に繋がっていると考えられる。また、減量化の面では各種生ごみ処理容器の問い合わせが増えており、減量化に対する関心や意識向上に繋がっていると思われるので、意図した成果が得られていると考えられる。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	ごみの分別、減量化について意識向上に繋がっているが、さらなる排出抑制に向けての啓発方法の検討や集団回収の交付金制度などは単価見直しを検討する余地がある。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	平成28年度予算に対して947千円削減した。主な要因として違反シール等の在庫数把握により印刷製本費を削減したことや、電動生ごみ処理機の補助上限基数を減らしたことにより予算額は減少した。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	ごみの分別、減量化について意識向上に繋がっているが、さらなる排出抑制に向けての啓発方法の検討や集団回収の交付金制度などは単価見直しを検討する余地がある。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	ごみの分別・減量化の啓発方法や、補助制度や交付金制度の見直しを検討する必要がある。

#### 5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	ごみ処理に係る費用やエネルギーの削減を図るため、様々なごみの分別・減量化の方法を町民に紹介し、更なる分別精度の向上、減量化の推進に努めていく。
② 平成29年度に着手する事項	平成30年度から運用を開始する（仮称）大磯町リサイクルセンターを活用した環境教育の内容について検討を行う。
③ 平成30年度に着手する事項	町内各地での分別精度の向上、減量化の推進に向けた啓発方法の検討に加え、（仮称）大磯町リサイクルセンターでの周知、啓発活動や環境教育を実施する。

#### 6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成30年3月29日

<p>おおいそ廃棄物減量化等推進員との協働により、地域や店頭での啓発活動および紙面を活用し、地域に密着したごみの分別、減量化・資源化の推進を継続する。</p> <p>また、引き続き広報やホームページの拡充により、ごみの分別、生ごみ処理容器のあっせん販売、電動生ごみ処理機購入費補助金制度等の減量化・資源化の手段について周知を強化する。</p> <p>リサイクルセンターでの啓発機能の活用により、見学者に対してごみの分別や減量に関する意識の向上を図る。</p>
---